

10月8日レベルI 研修 「フィジカルアセスメント：呼吸」を実施しました

研修の流れ

1. 講義

「フィジカルアセスメント」特に「呼吸器におけるフィジカルアセスメント」について

2. 呼吸音の聴診

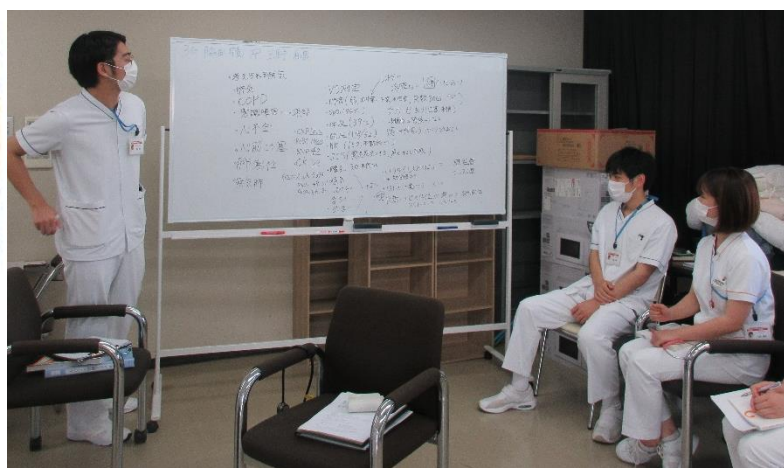
研修生同士で正常音の聴診。フィジコを使用して異常音の聴診

3. グループワーク

「呼吸苦と湿性咳嗽、喀痰のあるペーパーペイシエント」をもとに事例検討。

- ・考えられる疾患・病態は何か。
- ・その仮説に沿った情報収集には何が必要か
- ・その内容から考えられる患者の状態は何か
- ・必要なケアは何か

普段、背部聞けていなかったな



患者の症状から、肺炎？心不全？COPD？脳梗塞？心筋梗塞？無気肺？かもしれない。どんな情報が必要か。心音、呼吸音、不整脈は？神経症状、チアノーゼの有無、浮腫、冷感etc五感を使った観察を考えました。医師に報告を実施し、レントゲン撮影、採血、心電図検査を実施し結果を確認。得た情報から誤嚥性肺炎と考え、安楽な体位の調整、体位ドレナージ、スクイーピングのケアを導き出しました。

研修後の支援について

研修生には今回学んだことを日々活用するように伝えていきます。各部署、カンファレンスや報告時にはフィジカルアセスメントを含めた内容となるよう意識し研修生と関わってください。また、特定行為研修修了者にオブザーバーをお願いして、副看護師長さんを中心にOJTを実施する予定です。効果的に学べるよう患者の選定をお願いいたします。